

令和6年度第2回
岡山市男女共同参画専門委員会要旨

- 1 日 時 令和6年10月25日（金） 午後1時30分～午後3時10分
- 2 場 所 岡山市役所議会棟3階第1会議室
- 3 出席委員 小倉委員、栢野委員、岸委員、木山委員、田村委員、中塚委員、水ノ上委員、山本委員
- 4 出席職員 （市民協働局）森安次長
（女性が輝くまちづくり推進課）大下課長、篠原担当課長、繁定課長補佐、大熊主査、松川主事
（教育・学校指導課）西山課長、森阪指導副主査
- 5 傍聴者 1人
- 6 次 第
（開会）
市民協働局次長挨拶
（1）議事
①岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第2項の適用審査について（資料1）
②「第5次さんかくプラン」年次報告書（令和6年度）（案）について（資料2）
③困難な問題を抱える女性への支援のための施策の実施に関する計画（素案）について（資料3）
（2）その他
- 7 配付資料
資料1 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第2項の適用に係る審査票【岡山市教科用図書選定委員会】
資料2 「第5次さんかくプラン」年次報告書（令和6年度）（案）
資料3 困難な問題を抱える女性への支援のための施策の実施に関する計画（素案）

8 会議の状況

（1）議事

議事①

岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第2項の適用審査について
【岡山市教科用図書選定委員会】

○説明内容

資料1について教育・学校指導課から説明

- ・教科用図書選定委員会について説明
- ・令和6年6月1日付委嘱で改選があった。前年度に、大学の先生を中心とした有識者を選定した。PTAを、年度が変わってから小学校から1名、中学校から1名選出。今回はPTAの役員どちらも女性の方になったため、女性の割合が増えた。
- ・次回は令和9年度が小学校の教科用図書採択。次回は選定委員を1名増やし、事前に8名選出した上で、PTAを2名にする形に変える。

○審査結果

- ・賛成多数でやむを得ない事情があると認める。

議事②「第5次さんかくプラン」年次報告書（令和6年度）（案）について

○説明内容

資料2について事務局から説明

○意見等

■p.9「目標④ 市民への性の多様性についての啓発事業の参加者数」

- ・目標値が毎年250人だが、イベントがあって6,000人という数字になったのか。カウント方法の問題があるため、参考値にするなど見直した方が良いのではないか。

→人権フェスティバルの参加者の人数で、会場に来た人をカウントしている。カウントについては見直し時に担当課と相談する。

■p.14「目標⑦ 「さんかくウイーク」への参加者数」

- ・目標値に届いていないが、コロナの影響で参加人数が復活していないのか、それとも講座やイベントの数が復活していないのか。

→コロナの前は商店街でパレードなどをしていたが、コロナ後はそういった大きなイベントが少ない。公民館の関連講座については、全館で今までどおりに行っている。集客の点で、市民のひろばやHPは当然として、若者向けにSNSなど引き続き活用していきたい。

- ・さんかくウイークに長年一委員として関わらせていただいているが、大学生と関わっていると、性別というところに大きな差別意識を持っている人はあまりいない。どちらかというところ、社会に出てからの方が多し。若いうちからどう向き合っていけるのかということも含めて、アンケート、イベントをした方が良くなると思う。

■p.17「目標⑨ 女性のための生活や就労を考える講座の参加者数」

- ・この講座はどういった方の参加を想定しているのか。

→これから就労予定の方を想定している。

- ・それであればたくさんおられるはずなので、周知と広報を。

→今年度も継続して、集まりやすい午前中に開催するなど考えながら行いたい。

- ・法律という言葉が出るとちょっと堅いので、誰でも参加できる和やかな雰囲気の名だつと、もう少し参加者が増えるのでは。

■p.18「目標⑩ 女性の視点を取り入れた防災ハンドブックの配布数」

- ・ハンドブックには、妊産婦や障害を持つ女性、トランス女性についての内容が、適切にあるいは十分に含まれているのか。

→内容はこの冊子を作った際に専門委員会で議論をした時のまま。

- ・議論してから何年か経っている。今の時代に本当に合っているか、男女共同参画の視点で合っているか、増刷する時に必要であれば改訂していただきたい。

→改訂する際には検討する。

■p.20「目標⑫ 保育所等の待機児童数」

- ・子どもの数が減っているため待機児童が減っている。ただ、いわゆる隠れ待機児童とか利用保留児童など、申請したが通っていない人の数はあまり公表されないため、別の目標値が必要なのかなと感じた。

■p.21「目標⑬ 放課後児童クラブの入所希望に対する入所児童の割合」

- ・改善されてきているようではあるが、目標達成時期を延長しないといけないのは何が問題なのか。

→指導員の確保が大きい。

- p.22「目標⑭ 市の職員のうち男性職員の育児休業取得率」
 - ・過去に1年育休を取ったという男性2人に会ったが、やはり公務員の方で、取得するようにという空気があると言っていた。まずは市の職員など公務員の方から育休を取る文化を作って欲しい。
- p.26「目標⑰ 市の実施する再就職支援講座受講者のうち就職に向けて活動した人の割合」
 - ・再就職支援講座を受講した方は、就職に向けて活動をしたい方だと思うが、その人たちがせっかく受けたのに、なぜ就職に繋がらないのか。受講した人たちが本当に前向きに就職できるように、数値ではなく内容の部分で考えていくことが求められると思う。
 - 就職をしてもらいたいということが目的のため、なかなか繋がっていないところは課題。まだ先の就職を考えている方よりは、早くスキルを身につけて働きたいという方に受講してもらえるようにしたい。

議事③ 困難な問題を抱える女性への支援のための施策の実施に関する計画（素案）につ

いて

○説明内容

資料3について事務局から説明

○意見等

- ・医療との繋がりがあまり見えてこない。ハイリスクの妊産婦、メンタルヘルス、自殺予防、ハラスメントの関係があるため、入れてもいいと思う。
- ・警察は入らないのか。何か問題が起きたときに、配偶者暴力相談支援センターに連絡するというイメージが市民にいきなり入ってくるのは難しいと思う。
- ・p.3「人権の擁護を図るとともに男女平等」と書いているが、岡山市の条例では男女平等と言わないようしている。
 - 国の法律の基本理念で男女平等の表記があり、使っている。

(2) その他

次回（第3回）会議について

- ・第3回会議を1月に開催予定。日程調整は改めてお願いします。